

鉾山町生野発 未来型課題解決能力を持つ地域の担い手を育成するIKUNOモデルの研究開発



鉾山町「生野」の歴史・文化が持つ魅力

- 1200年の歴史ある生野鉾山
- 「住民主体のまちづくり」に取り組む
- 「日本遺産」・「重要文化的景観」に認定
- オオサンショウウオ研究機関「日本ハンザキ研究所」
- 鉾山関連遺構を観光施設として活用
- 生野鉾山を守る拠点とされる「竹田城跡」のブーム

本構想で取組む生徒の育成目標

高齢化社会の課題をテクノロジーを活かし論理的に解決 未来を知る

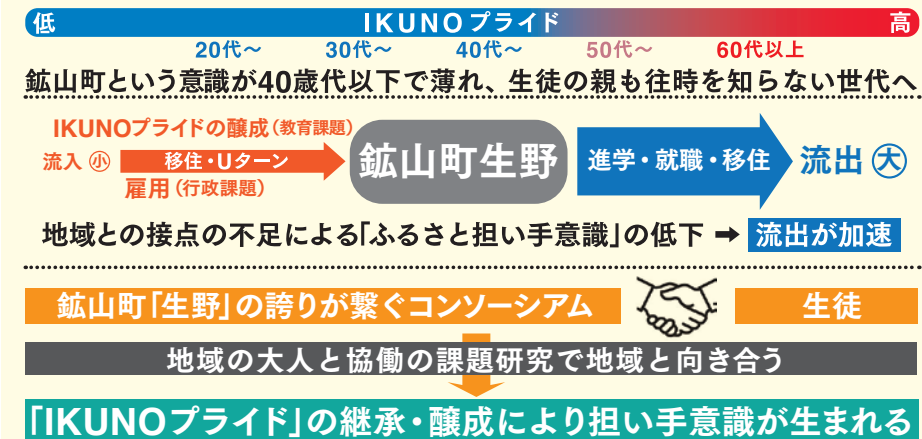
観光資源を活かしたまちづくりに主体的に参画 現在を知る

鉾山町としての意識「IKUNOプライド」の継承・醸成 過去を知る

IKUNOプライドとは

- 最先端技術を取入れ「日本の近代化」を支えたフロントランナーとしての意識
- 中山間地域において国内外の多様な文化が流入し栄えた町の記憶
- 鉾山閉山後も住民が団結したまちづくりに取り組んできたという気概

本構想でまちづくりに与える影響の仮説



コンソーシアム構成団体



IKUNOモデルによる本校の取組み

テクノロジーの限界・可能性を理解 論理的に取捨選択できる未来型課題解決を学ぶ

未来社会のまちづくり～シビックテクノロジー～

- 2050年までに予想される社会の変化を理解
- テクノロジーによる地域の課題解決を研究機関・企業から学ぶ
シビックテクノロジー…テクノロジーを活用した市民・社会課題の解決を目指す取り組み

Society5.0で生き抜く「人間力」の育成

- 論理的思考力 × アイデア発案力 × 自己理解 (目標設定)
→オートメーション化のなかで「考え生み出す力」、現状を理解し実現可能な目標を設定する力

現状と課題を理解 他人との協働の中で主体的に物事を進められる力

地域の担い手 (コンソーシアム) と現場で学ぶ協働「課題研究」

- コンソーシアム団体と地域を舞台に探究する共同課題研究
- 教育発表会で地域に向けプレゼンテーション

地域の歴史に触れ今を知る IKUNOプライドの継承・醸成

地域の担い手 (コンソーシアム) からの口伝 地域文化に触れる

- 地域の専門家から学ぶ地域学 (座学 + フィールドワーク)
- 地域イベントへの参加など

IKUNOモデルで目指す生徒像

マンパワーの不足する地方においてテクノロジーの特性を理解・活用し論理的に地域課題の解決に取り組む能力を持つ。また主体的に地域との対話を行い、協働の中で探求に取り組みその結果、地域の担い手意識を持つ生徒。

未来型課題解決能力を持つ
地域の担い手を育成